

# 滋賀県立総合病院 事業概要 (2018 - 2019)



総長 一山 智

総合病院のビジョン



## (1) 高度・安全・安心の医療を提供する

- 運営会議での指差し訓練（4月～）
- 手術支援ロボットの導入（6月～）
- ゲノム連携病院に指定（4月～）



(指差し確認訓練)



(ダビンチ)

## (2) 働きやすい職場をつくる

- メディカルスタッフの増員（薬剤師、セラピスト、栄養士、看護師）
- 機器更新による業務効率改善（放射線治療、検体検査、病理システム）
- 電子カルテ端末増設

## (3) 病院と県民をつなぐ

- 病院見学会（2月実施）
- オープンホスピタル（5月実施）

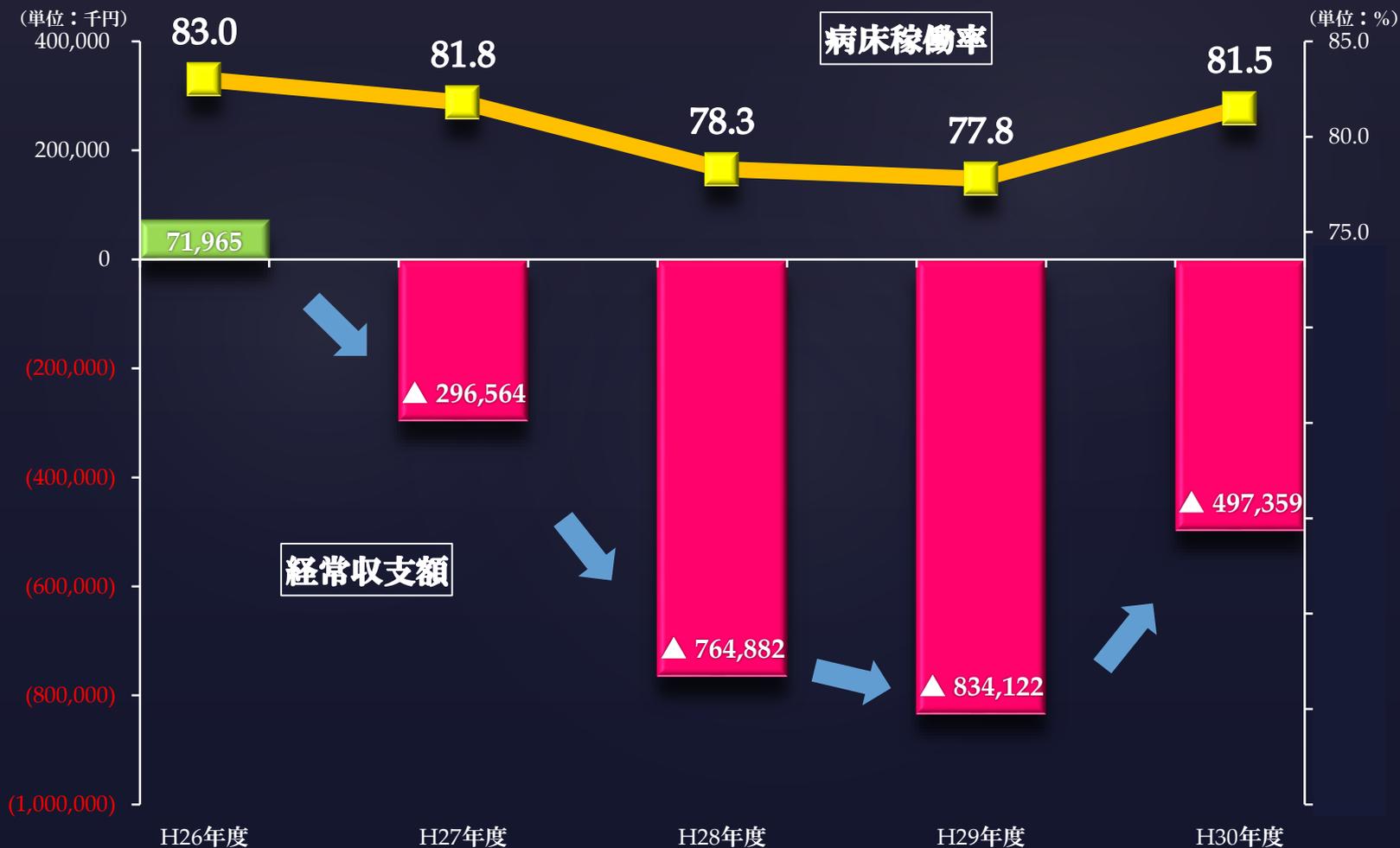


(病院見学会)



(オープンホスピタル)

# 病床稼働率と経常収支額の年次推移



- (1) 体制の充実と人材の確保
- (2) 施設、設備の適時更新
- (3) 外部環境の変化に対応した柔軟な運用見直し
- (4) 小児保健医療センターとの統合に向けた調整

# 滋賀県立小児保健医療センター



## 目標と取組の概要

# ビジョン

- 専門知識と技術の向上。  
良質・安全・エビデンスに基づく医療を，十分な説明と納得の上で提供。
- 地域の医療，保健，療育，福祉，教育機関との機能  
分担・連携を図る。 [ 地域連携 ]
- 小児の医療，保健，療育，福祉にたずさわる専門  
家育成，学生教育への協力。 臨床研究を通じ，  
小児保健医療の発展に貢献。 [ 教育と研究 ]
- 県立病院の使命として，政策医療を推進。

# 平成30年度の目標と主な取り組み

\* 当センターの使命である難治・慢性疾患を持つ子供たちへの医療・ケアの包括的なサービスを持続かつ発展的に提供できるよう、第四期中期計画を推進していく。

\* まずは、地域医療機関と連携のもと、施設利用率を向上させ、さらに、経営資源であるマンパワーの確保を図りながら、収益の増加を目指す。

## 【病床利用率の向上】

- ①レスパイト入院の拡充(予約枠:12床→15床)
- ②呼吸器管理に係る検査入院の推進
- ③学齢期患者の集中的なリハビリ入院の促進
- ④高度な手術治療の推進

## 【診療体制の充実、強化】

- ①整形外科医、小児科医、リハビリテーション科医の確保
- ②専攻医、研修医の受入、育成

# 結果の概要

## ◆ 病床利用率 … 67.2%

(1ポイント 改善に止まる)  
(レスパイト入院 9.2% → 10.1%)

○手術件数は全体で、25.3%増加したが、平均在院日数が短縮し、1ポイントの上昇に止まる

手術件数	446件	→	559件
在院日数	10.3日	→	8.7日

## ◆ 決算 … 約140百万円の純損失

(2期連続の損失)

○診療収益は増加したが、医業収益は横ばい

(入院外来収益+4.7% +96百万円、その他収益△40.4% △98百万円(繰入金の医業外振替))

○医業費用の増加(+5.4% +142百万円)

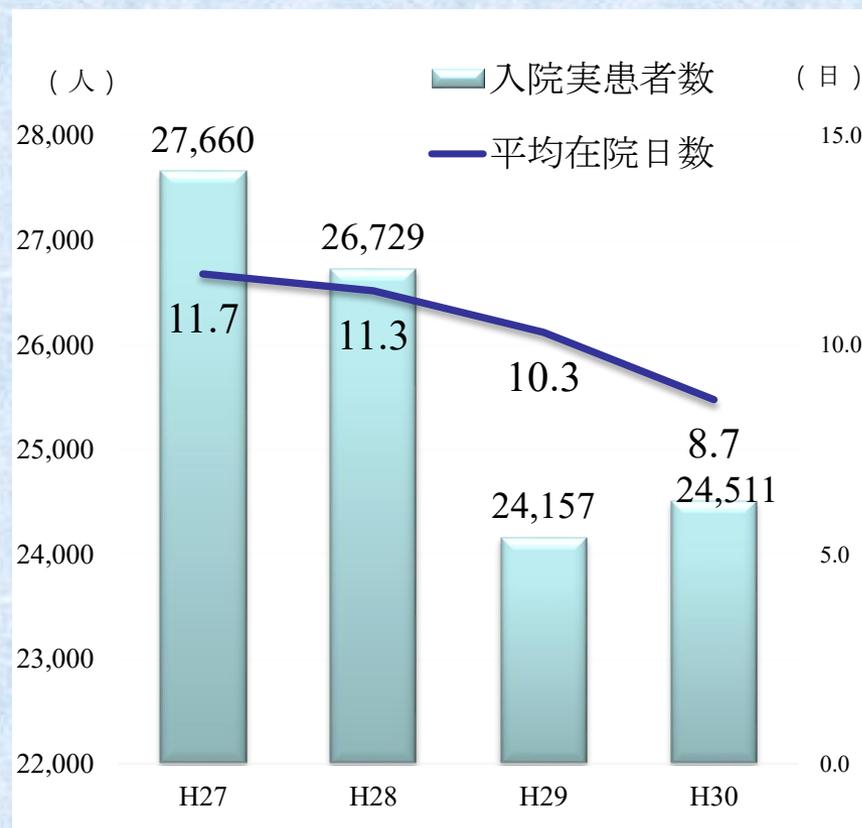
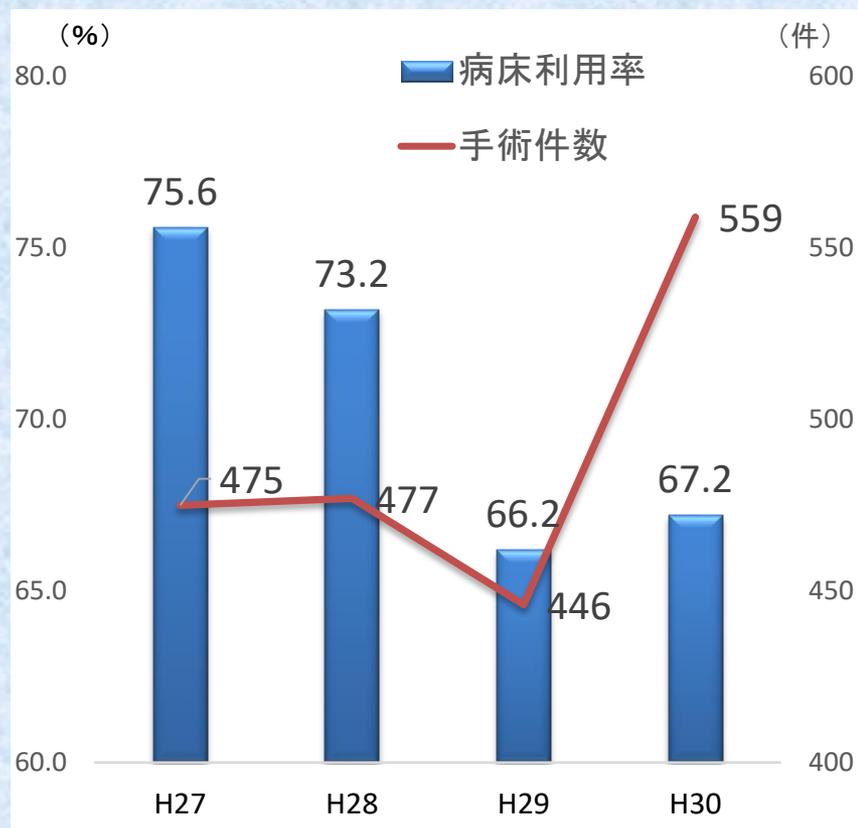
※高額治療薬使用分(スピリガ<sup>®</sup>158百万円)を除く

病床利用率：67.2% ( 1.0P↑ )

手術件数：25.3%↑

入院実患者数：18.0%↑

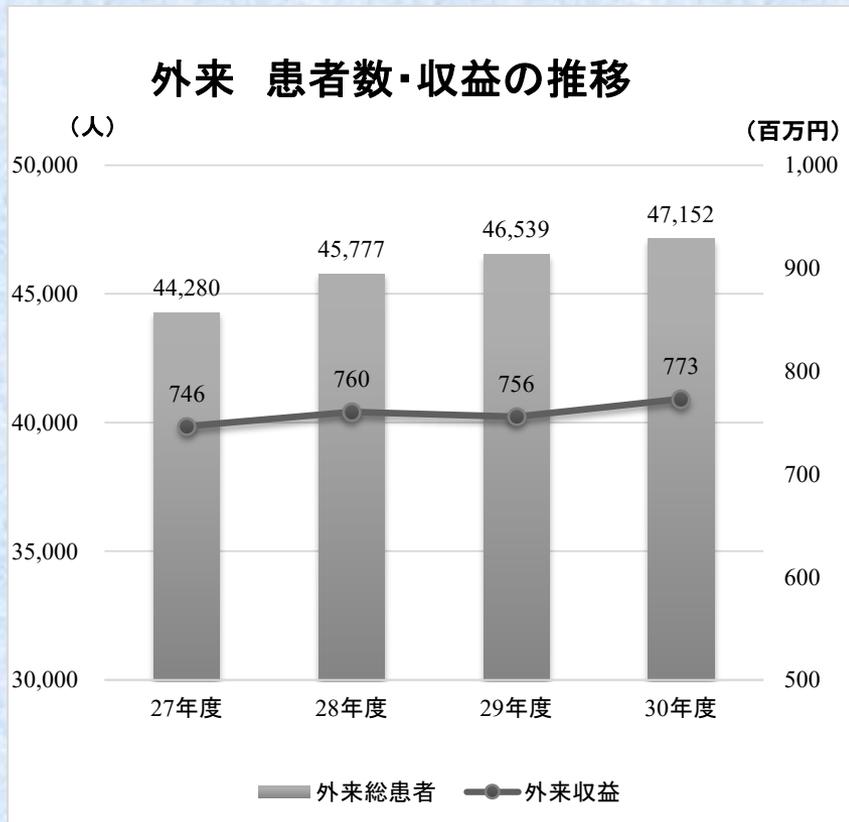
平均在院日数：△15.5%↓



# 入院と外来

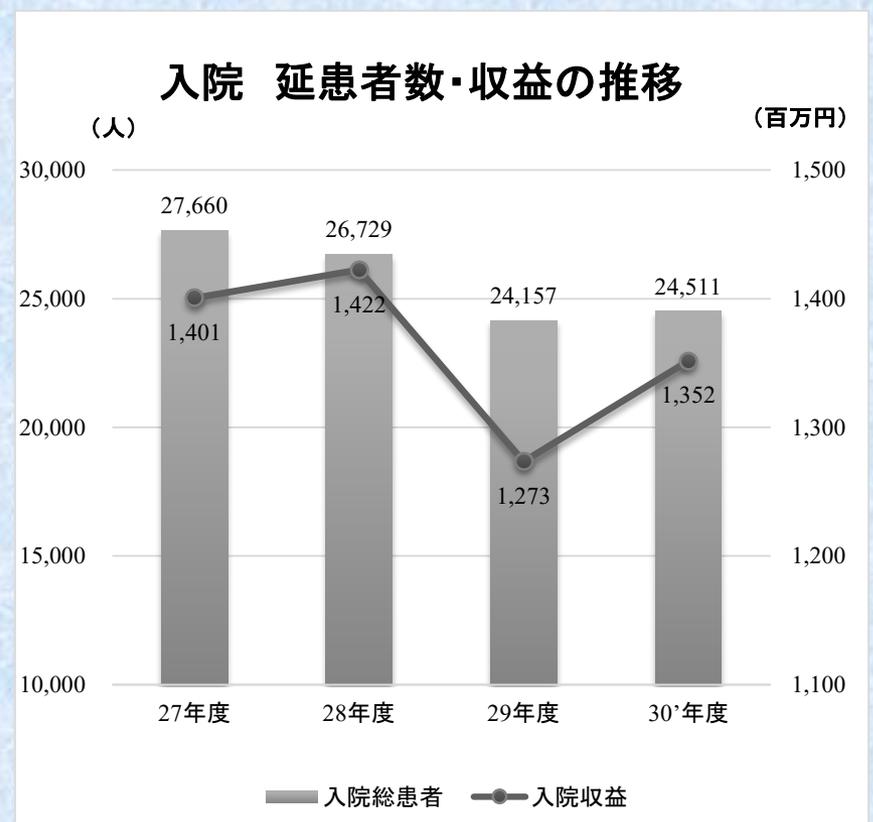
## 外来は比較的堅調

・患者数、収益ともに微増



## 入院延患者数は微増

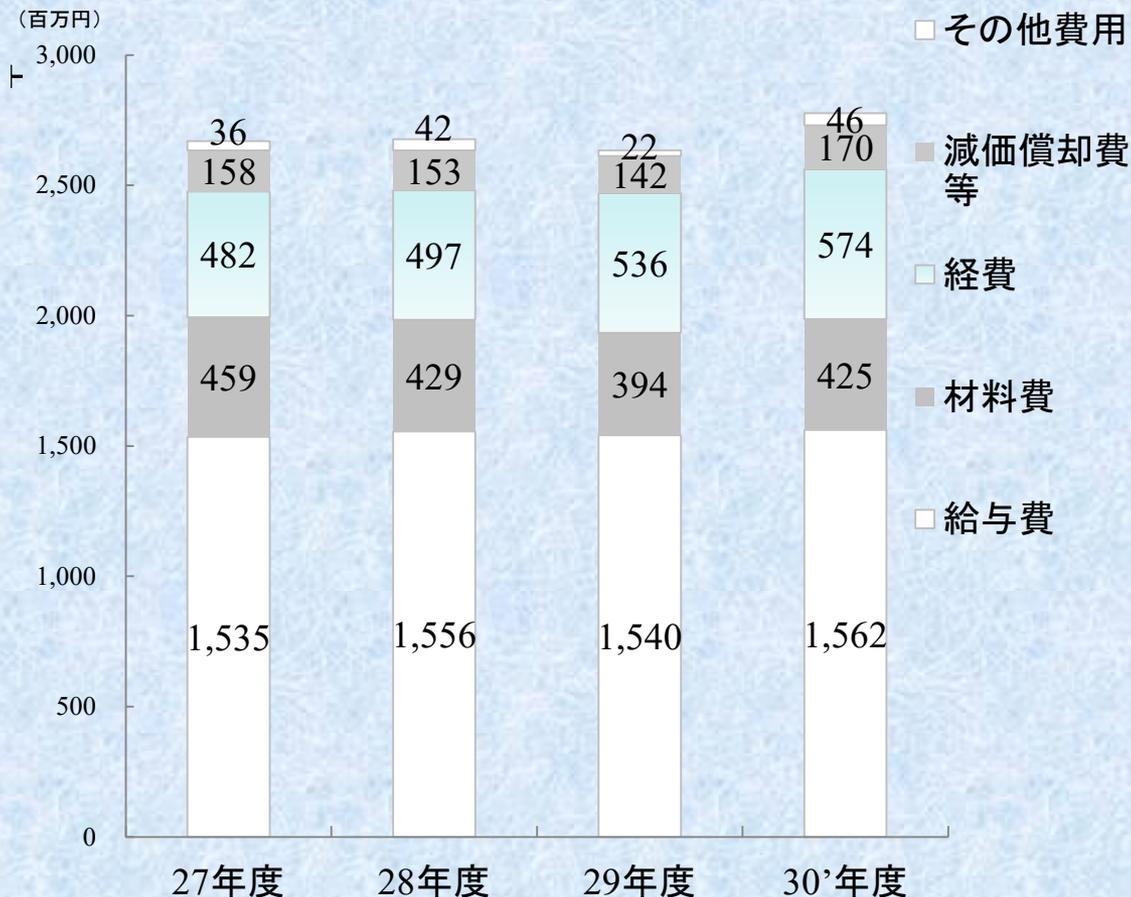
・実患者数、収益は増加



※高額治療薬使用分(スピラザ\*158百万円)を除く

# 経費の上昇

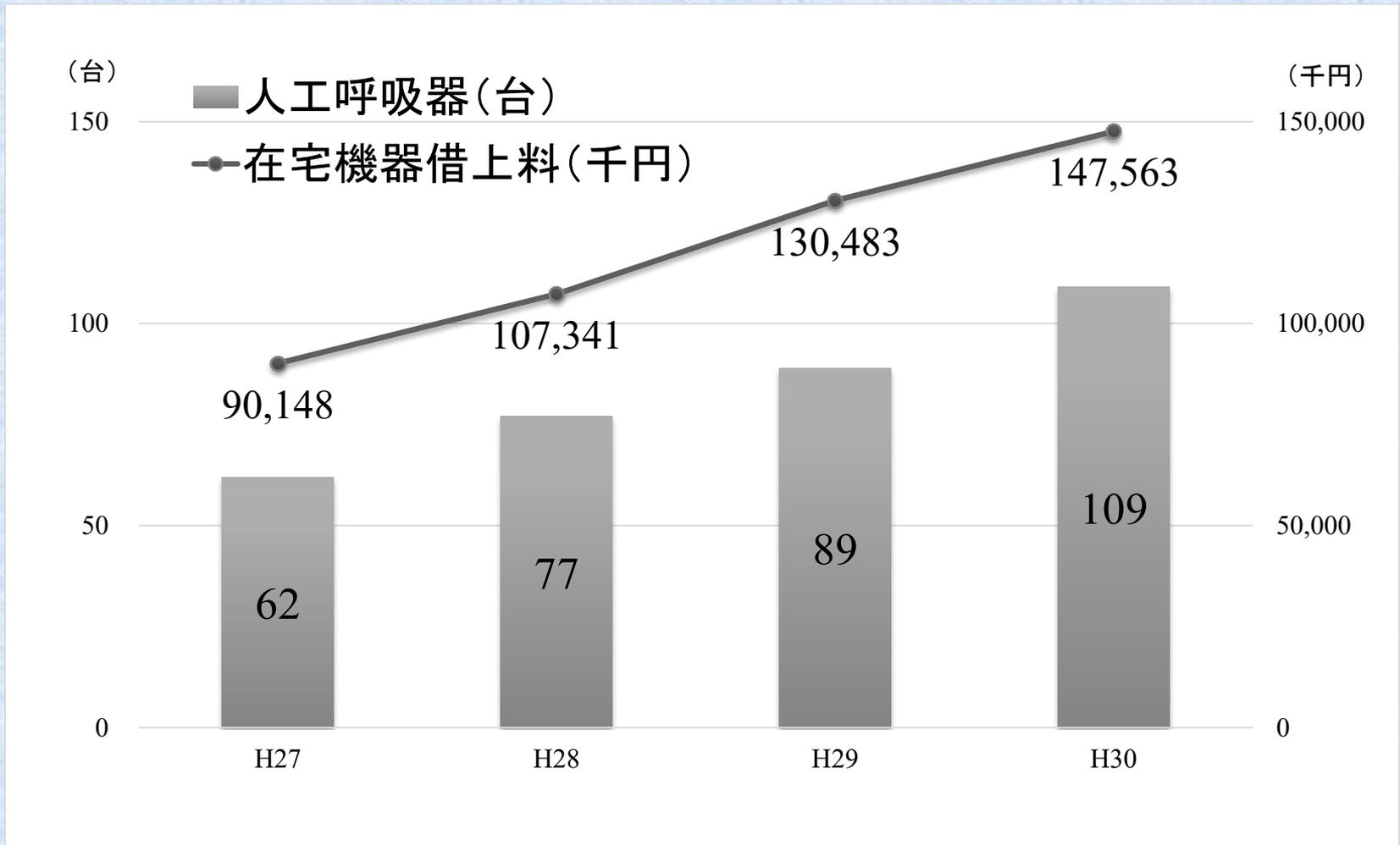
## 医業費用の内訳



- \* 本部経費の増加
- \* 減価償却費(電子カルテ)の増加
- \* 経費(人工呼吸器借上、報償費、修繕費、燃料費)の増加
- \* 材料費(ディスプレイ手術器具)の増加

※高額治療薬使用分(スピラザ156百万円)を除く

# 人工呼吸器の増加



# 令和元年度の目標と取り組み

## 【持続的発展可能な経営基盤の安定化】

◆ 地域医療機関との連携のもと、高度な手術治療を推進し、また、リハビリや検査入院を促進のうえ、レスパイト入院の需要にも最大限に応じながら、病床利用率の向上を図り、医業収益の確保および経営改善の実現を目指す。

◆ 安定的に質の高い医療を提供できるよう、不足する常勤医師の早期確保に努めるとともに、研修医、専攻医を積極的に受入れながら、将来に向け、高度専門医療が提供できる医療体制の確保につなげる。

## 【病床利用率の向上】

・診療科ごとにベンチマークを設定

- ① 整形外科医の増員による高度な手術治療の推進
- ② リハビリ専門医の設置による入院訓練の促進(リハビリプログラムの充実)
- ③ 専任の言語聴覚士設置による嚥下機能訓練の実施
- ④ 在宅療養支援、レスパイト入院の積極的な受入れ
- ⑤ NICU後方支援の拡充
- ⑥ アレルギー検査入院の促進
- ⑦ 呼吸器管理に係る検査入院の促進

## 【診療体制の充実、強化】

- ① 整形外科医、小児科医の確保
- ② 専攻医、研修医の受入、育成
- ③ 医師事務作業補助者(ドクターエイト)の増員

◎新センターの設計、県立総合病院との統合の準備を推進

# 未来

## 小児センターの進む道



2024年1月 総合病院と一体化（新築 移転）

小児施設としての独立性

縮小合併ではない 機能拡張

専門性をさらに高め、広域から患者さんが  
来る施設へ

# 滋賀県立病院経営協議会



滋賀県立精神医療センター

# 滋賀県立精神医療センターの役割(政策医療)

## 1. 医療部門

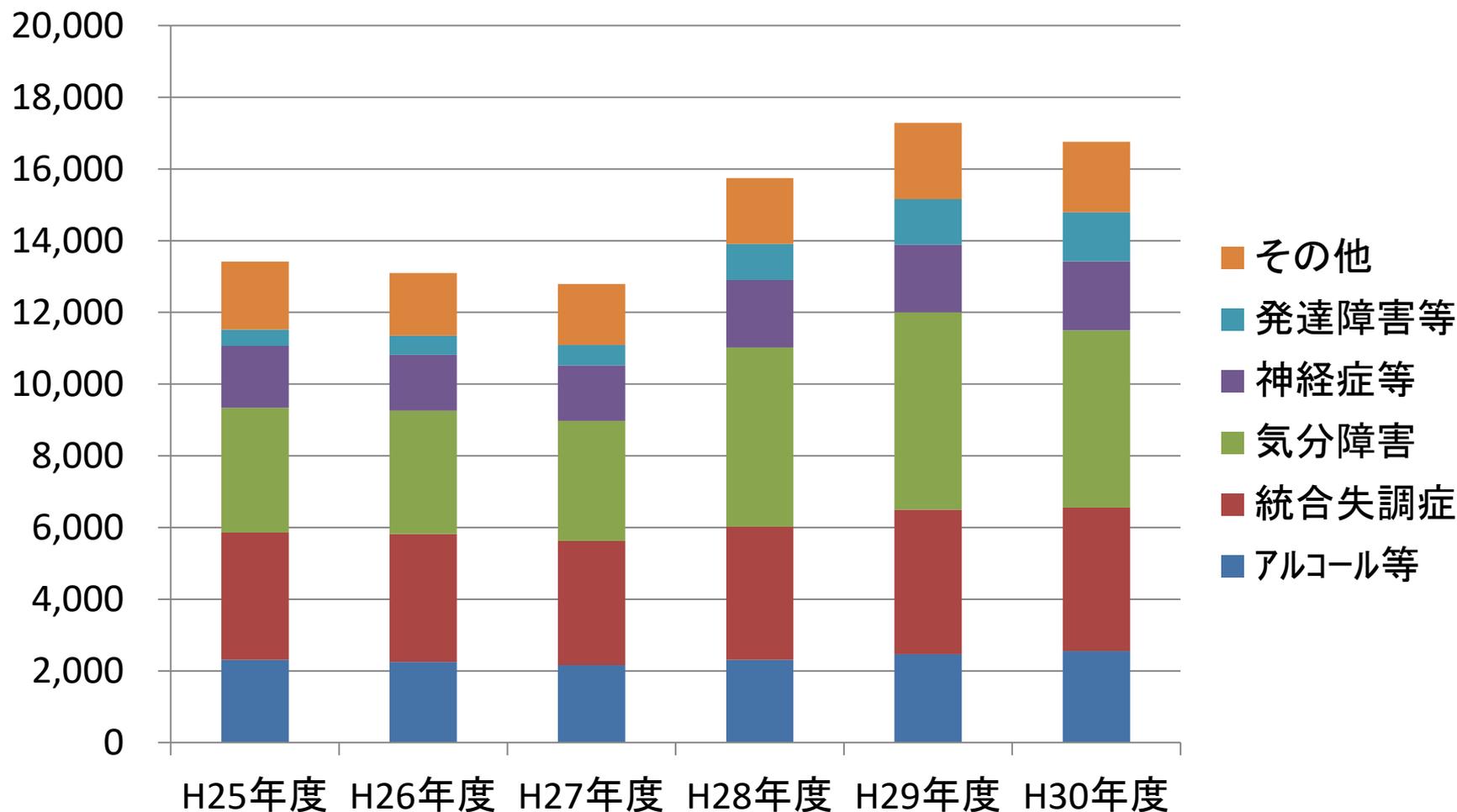
- ★精神科救急(急性期患者の受入)
- ★思春期精神障害の専門医療
- ★アルコール依存症等の中毒性障害の専門医療
- ★処遇困難症例の対応
- ★医療観察法に基づく鑑定入院、通院・入院医療

## 2. 地域生活支援部門

- ★地域医療機関等との連携、退院促進、訪問看護
- ★デイケア

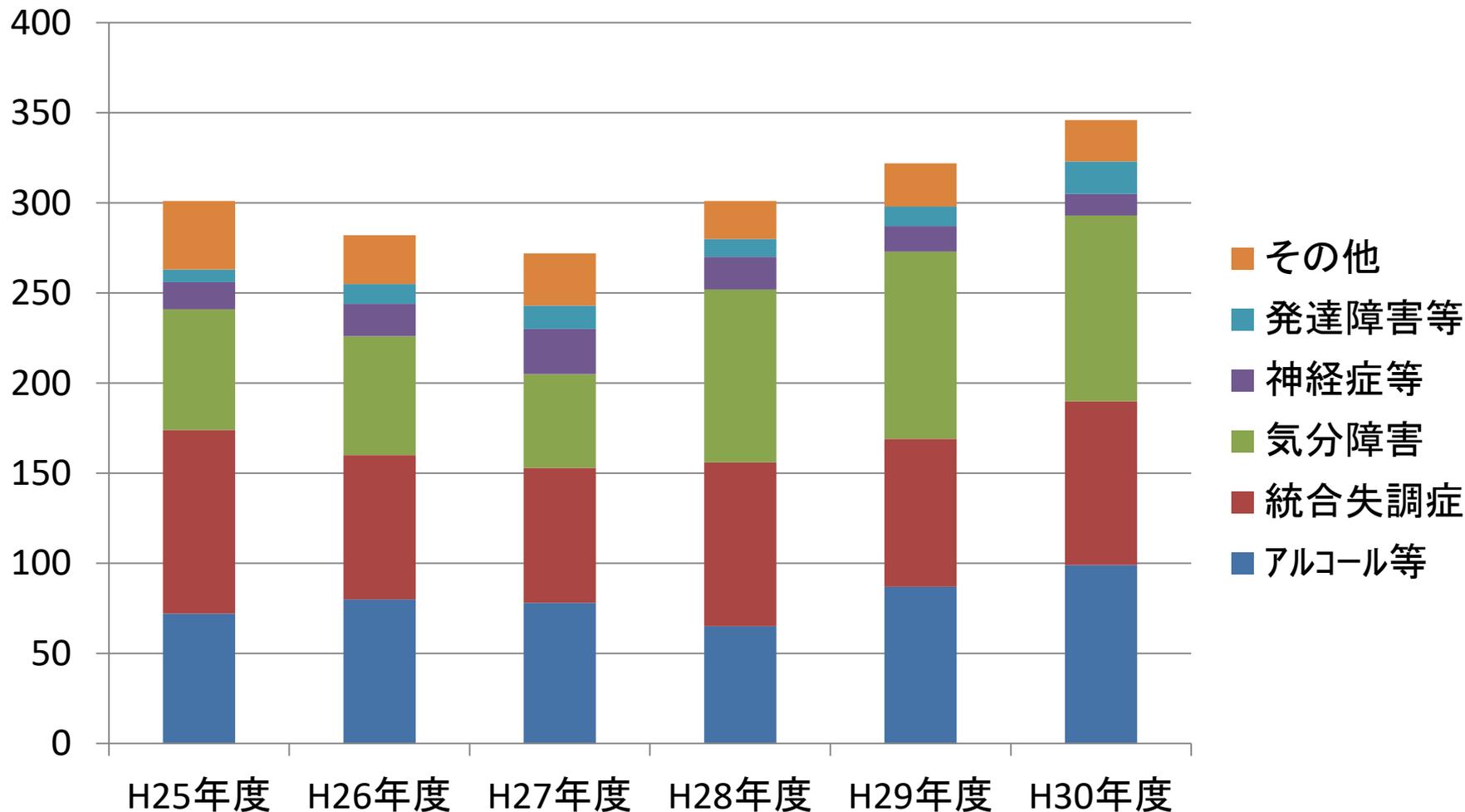
# 【外来患者数(疾患別)の推移】

## 平成28年度以降は15000人超



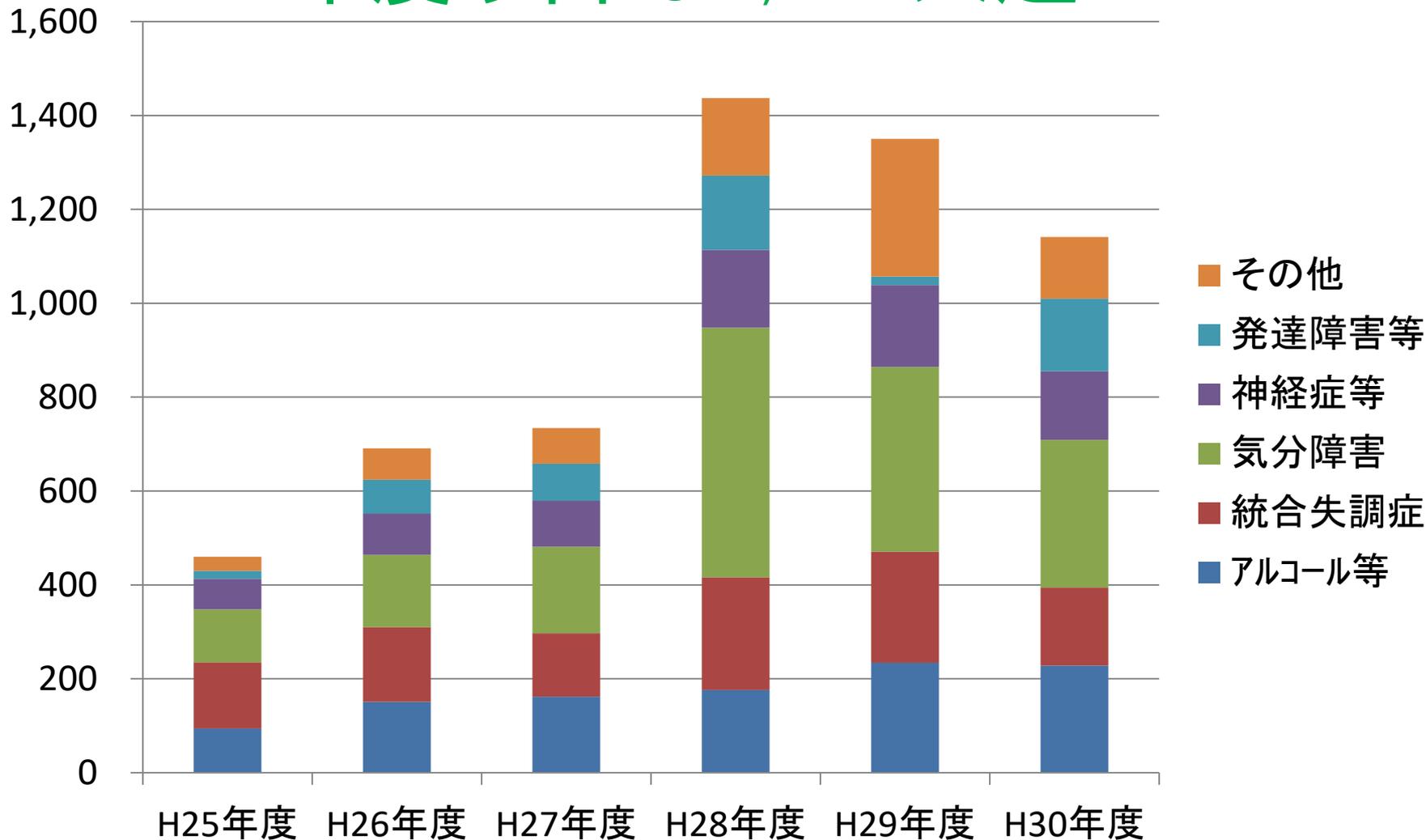
# 【入院患者数(疾患別)の推移】

平成30年度は過去最高の入院患者数



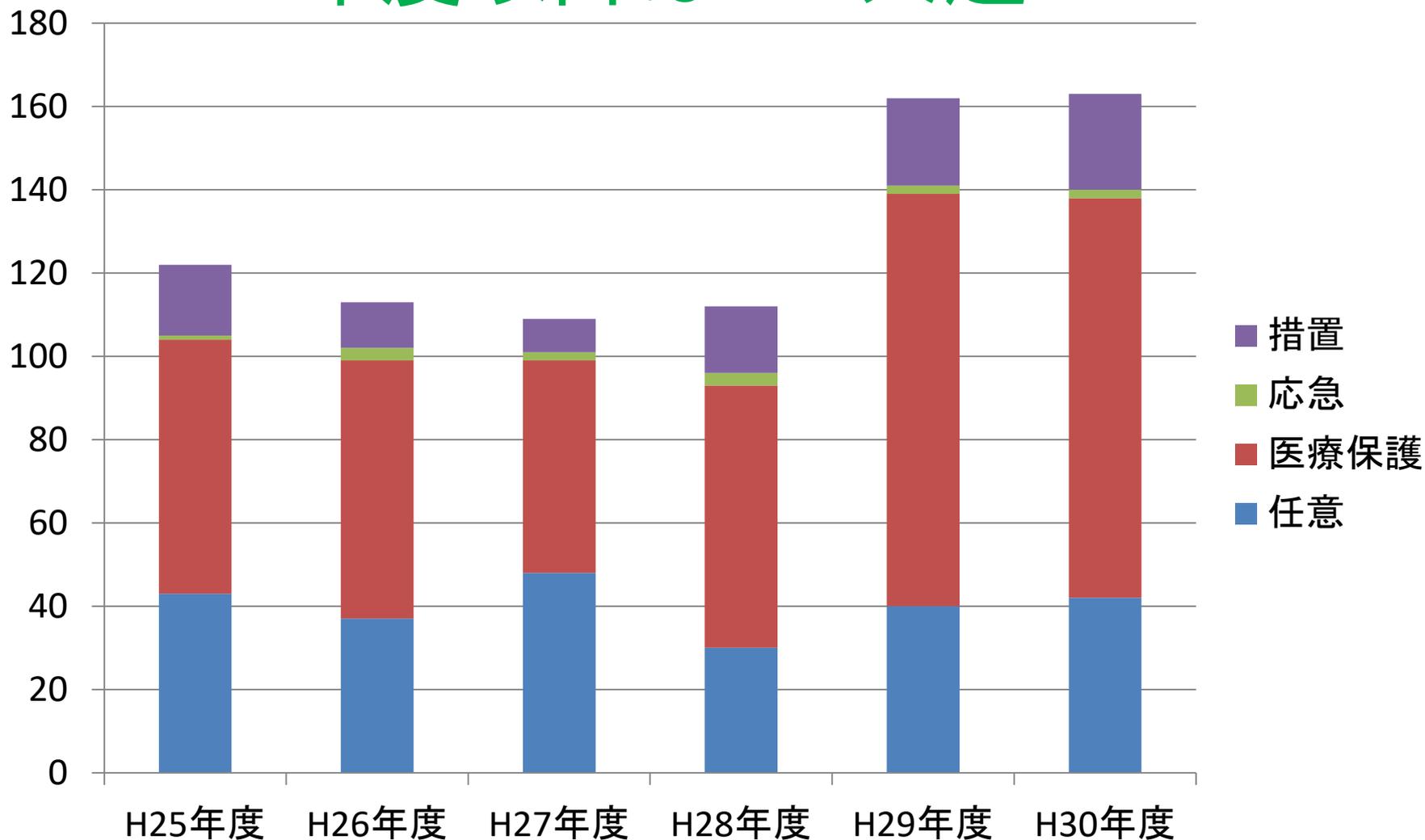
# 【救急・緊急受診者数】(予約外の外来)

H28年度以降は1,100人超



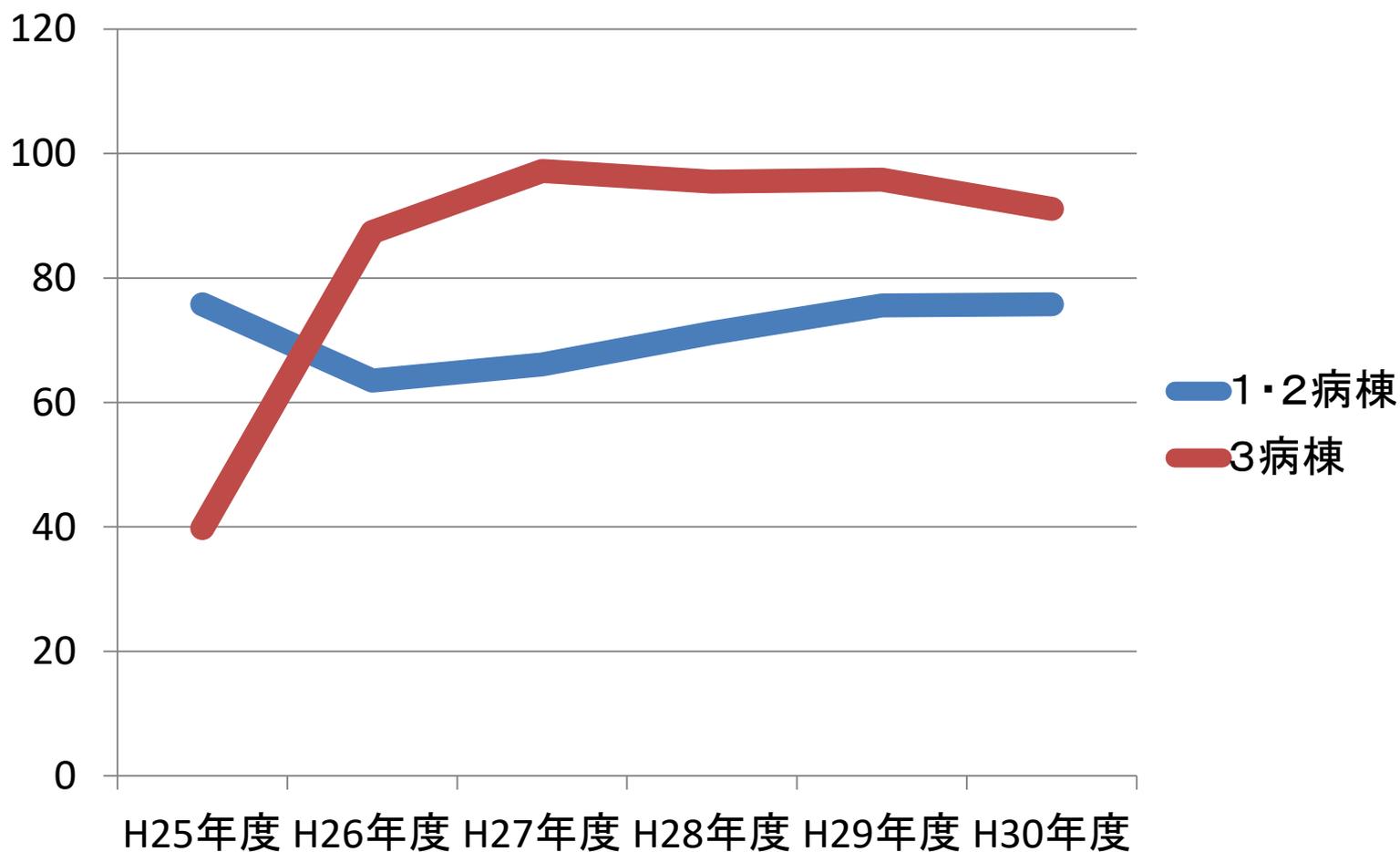
# 【救急・緊急受診→入院者数】

H29年度以降は160人超



# 【病床利用率】

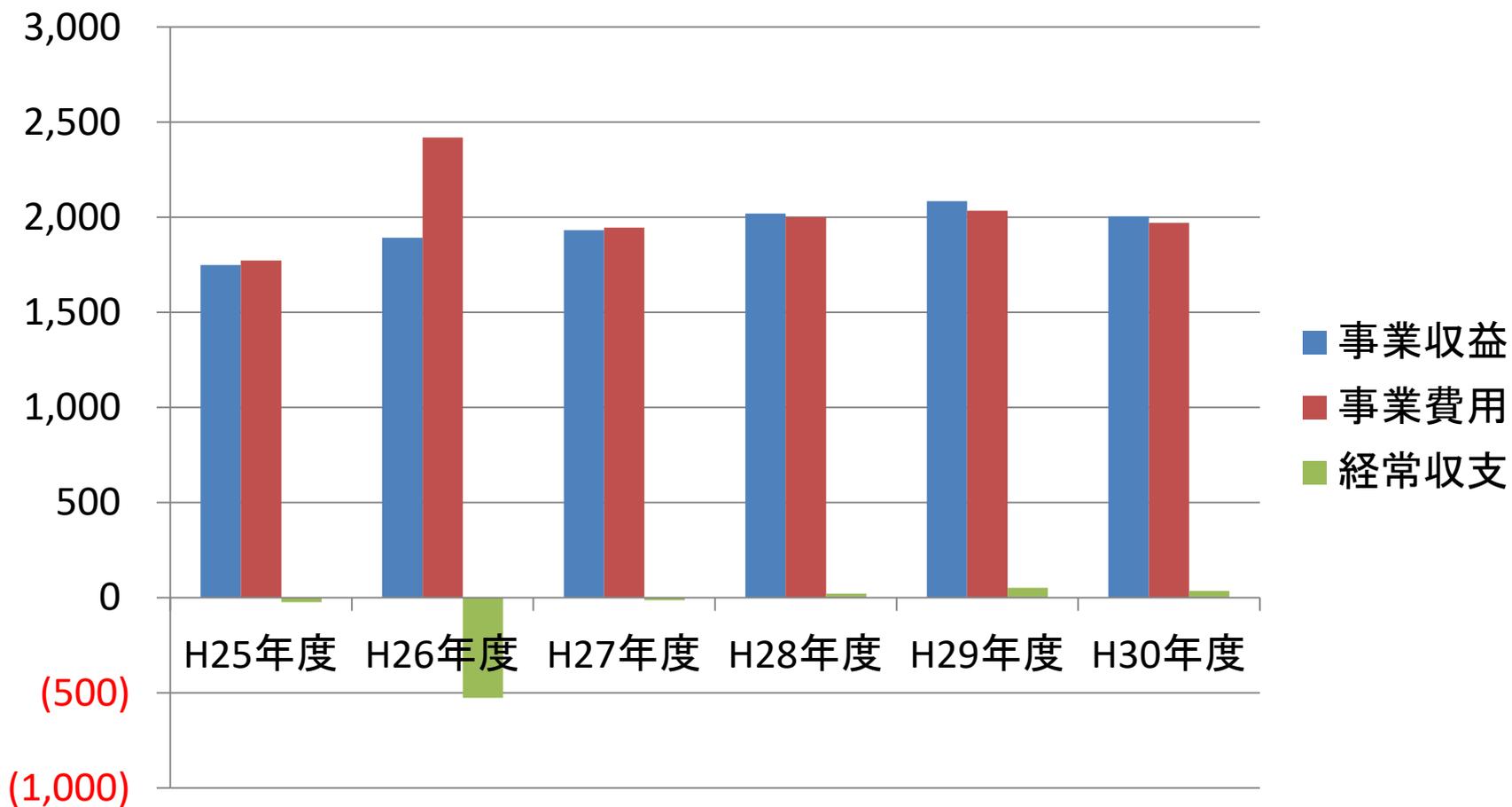
1・2病棟は漸増、3病棟は減



# 【決算状況】

単位：百万円

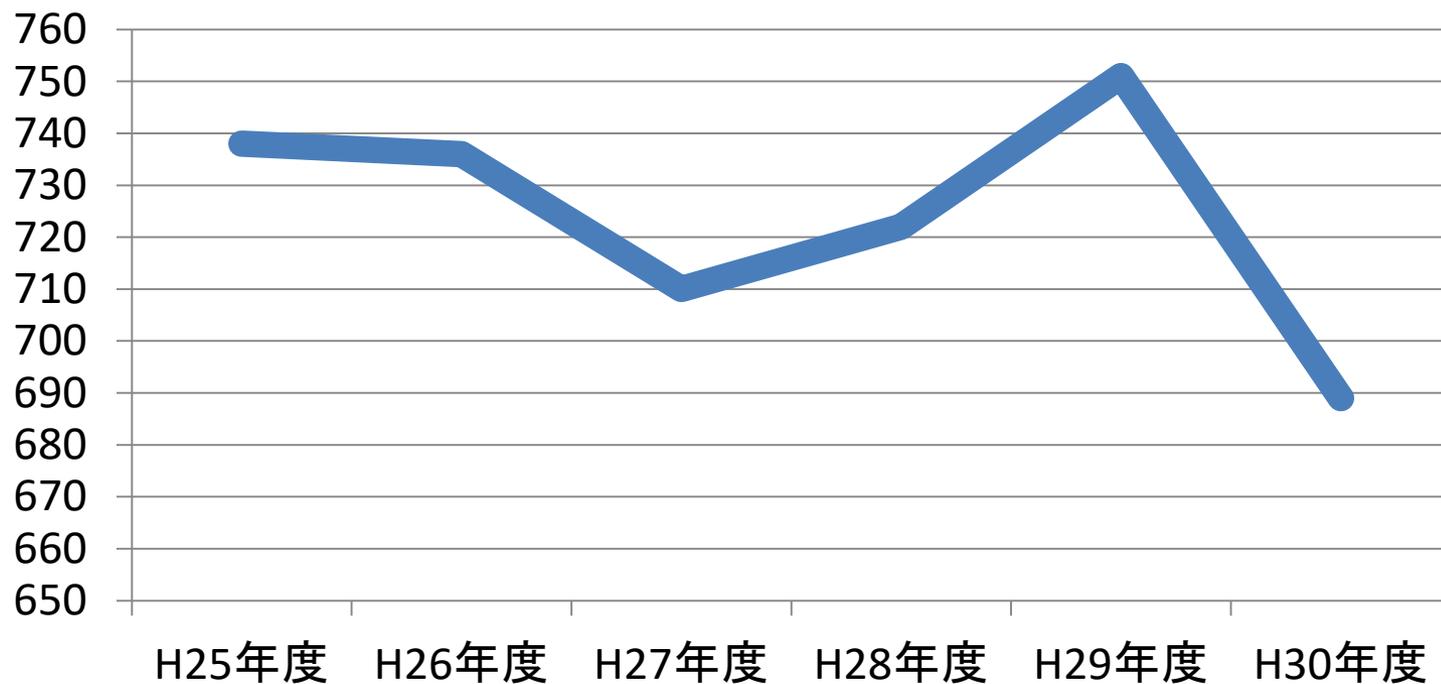
## 平成28年度以降は黒字維持



# 【繰入金推移】

単位:百万円

## 平成30年度は大幅減



# 令和元年度運営方針・重点取組

## 1. 医療安全等の危機管理体制の強化

⇒医療安全対策室・感染管理室の設置等

## 2. 医師の確保による安定的な診療体制

⇒滋賀医大等との連携強化による医師の早期確保

## 3. 専門医療の提供

⇒アルコール依存症治療拠点機関として潜在的患者の受入推進等

## 4. 救急医療体制の強化

⇒スーパー救急を見据えた個室化改修工事等による救急受入の円滑化

## 5. 安定的な収益の確保および地域医療連携の強化

⇒地域の医療・保健機関・産業医等との連携強化

## 6. 医療観察法病棟の運営

⇒円滑な社会復帰と収益の安定化に向けた取組

## 7. 精神科デイケアの推進

⇒発達障害デイケア等による社会復帰の支援

## 8. 行政との連携